

九州大学病院

研修医 平木 嘉樹 2016年11月

九州大学病院研修医2年目の平木嘉樹と申します。11月の1か月間、地域医療研修をさせていただきました。

私は鹿児島市出身で、大学までは鹿児島市内で過ごしました。出水市には過去に一度来たことがありましたが、ツルを観たことはありませんでした。11月での研修だったこともあり、今回初めて「出水のツル」を観ることができ、大変嬉しく感じております。

今回の研修では、高尾野診療所、野田診療所、上場診療所、出水保健センター、そして出水総合医療センターで研修させていただきました。

高尾野診療所では主に外来診療を経験しました。診療所での外来診療は初めての経験だった上に、今まで電子カルテでの診療録記載の経験しかなく、初めての紙カルテ記載でかなり戸惑いましたが、西元寺秀明先生に優しくご指導を賜り、1週間ほどで何十人もの慢性疾患の外来患者さんを診察するという、貴重な経験をさせていただきました。

野田診療所では、内村忍先生ご指導のもと、外来診療や心エコー、頸部エコー、腹部エコー、上部・下部消化管内視鏡検査の補助を経験しました。エコー検査では実際にプローブを握らせていただきながら検査手順を繰り返しご指導いただき、また上部消化管内視鏡検査では最終的に口から十二指腸までの挿入を単独でさせていただき、貴重な経験をさせていただきました。加えて、いままでほとんど経験のなかった訪問診療に度々携わることができまして、地域医療における訪問診療の重要性を実感いたしました。

上場診療所では、宗清正紀先生のご指導のもと、外来診療の補助を経験しました。加えて、患者さんの健康相談も経験しまして、その過程で患者さんから病態を聴取することの難しさ、奥深さを実感しました。また、患者さんとの雑談の中から、上場小学校にドクターヘリが到着した際の話の伺うことができ、へき地医療における切り札としてのドクターヘリの重要性について再認識いたしました。

出水保健センターでは、母子健康相談や3歳児検診を経験しました。普段ご高齢の患者さんと接することが多く、小児の患者さんと接した経験がほとんどないこともあり、エネルギーに満ち溢れつつも繊細なお子様達に圧倒されました。

後半の出水総合医療センターでは、消化器内科で研修しました。主に上部・下部内視鏡検査について、藤田浩先生をはじめとする先生方にご指導いただき、いくつかの症例については実際に内視鏡手技を経験させていただきました。お忙しい中、検査手技や所見の判断について丁寧にご指導いただき、非常に勉強になりました。また、看護部、臨床検査科、臨床工学科、リハビリテーション技術科、医療安全管理室、地域医療連携室で講義や体験をさせていただきました。普段出しているオーダーの先で、実際に行われている検査手技などを体験することができ、より一層理解が深まる、貴重な経験となりました。

最後になりましたが、お忙しい中ご指導いただきました先生方、関係者の皆様、そして診察させていただきました患者さんに深く御礼申し上げます。今回の経験を、今後の臨床に活かせるよう、残り少ない初期研修や来年度から始まる後期研修を頑張っていきたいと思っております。